

第2回地方自治法施行60周年記念貨幣のデザイン等検討会

日時：平成21年7月15日（水）13：00～14：30

場所：高知県庁 第2応接室

出席者：別紙のとおり

[西山会長]

- ・ まず、会議の公開について諮りたい。前回と同様に公開で行いたいと思うが異議はないか。

[各委員]

- ・ 異議なし

[西山会長]

- ・ それでは公開とする。
- ・ ただ、一点、本日の提案されている（記念貨幣の）デザイン案については、造幣局から非公開の要請があるので、検討会終了後、資料を回収する。
- ・ 報道の皆様にも、デザイン案の撮影は、お断りしたい。
- ・ 前回の検討委員会の内容を踏まえて、造幣局からデザイン案が示されている。

ー デザイン案の説明（千円硬貨） ー

[西山会長]

- ・ まず、千円硬貨から検討に入りたいので、造幣局のほうから、デザイン案の説明をお願いします。

[造幣局]

- ・ 前回配布した、地方自治法60周年記念貨幣の図柄について、今回、奈良県と茨城県が（デザインが）決定したので今回付けている。
- ・ 第1回デザイン検討会で提案されたものをもって、高知県から「こういう構図を描いていただきます」というデザインの作成依頼書をいただいて、これに沿ってデザイン案を作成してきた。
- ・ まず、1番、坂本龍馬の銅像（立像）と桂浜の荒い波。
2番が立像と桂浜の朝陽。
3番が立像を斜めアングルから見たものと背景に荒い桂浜。
4番が同じく斜めからみた立像の背景に朝陽。
5番が龍馬の写真（一番有名な写真）に桂浜の穏やかな波を持ってきたもの。
6番が同じものに朝陽を持ってきたもの。
- ・ 組み合わせ確認梗紋については、坂本龍馬記念館のホームページからとらせていただいた。
- ・ この紋章がないと、銅像にしる、写真にしる、胸に紋章が入っているが、これがどういうものか分からない。
- ・ 5番の背景の写真だが、向かって右側が少し不鮮明に見えるが、背景に使用した写真の位置に立像が建っていたので、それをはずしたから不鮮明に見える。
- ・ 例えば5番を1番みたいに全部に背景を入れるなら、銅像を取った写真が資料として欲しい。
- ・ 実際、千円硬貨に関しては、銀でできていて、背景が鏡面となっている。
- ・ デザインした立場から言うと、銅像は著作権の問題が色々難しいが、著作権の話がクリアされたとして、人が制作した銅像のレリーフを新たに起こして貨幣にするというのは少し抵抗がある。写真などをレリーフにするのはいいが、有名な作家がつくったものを、新たに彫刻としてつくるのは、創作する側の立場からすると抵抗がある。

[事務局]

- ・ 選定方法の説明。6つの案に推薦順位を付けていく。

(協議)

[安岡委員]

- ・ 先ほど（造幣局から）銅像について発言があったが、それは「あまり面白くない」、「よろしくない」ということか。

[造幣局]

- ・ そうではない。作った側としては、そういう考え方があるということであり、止めて欲しいということではない。

[西山会長]

- ・ 銅像の作者である本山白雲さんの著作権はどうなっているか。

[事務局]

- ・ 著作権については、没後50年以上が経過しているので、問題ない。銅像を管理しているのは高知市役所だが、市役所からも写真等の使用については許可を得ている。
- ・ 法律上の問題はないが、念のため、本山白雲さんのご子息の方にも、事務局がお会いして了承を得ようと考えている。法律上は問題ない。

[島田委員]

- ・ 私はこれを見て、肖像写真のほうが良いと思う。見た目の感覚で言っているが。
- ・ 少し斜めにして、未来に向かっていて、変化があるデザインなのかなという感じがする。
- ・ 3つの案があるが、肖像を焦点としたときには、桂浜の穏やかな波だけの図案だが、これに激しい波、荒い波を重ねたらどのようなイメージになるのか。
- ・ 案としては6つの中から選ぶということだが、そういう希望を出すことは可能か。

[造幣局]

- ・ 問題ない。最終決定する場ではないので、今回作ってきた図案を見て、背景を変えてほしいとか、こういう波をもってきてほしいとか等の要望は可能。そういう要望を持って、次のデザイン検討会に出していただければいい。

[西山会長]

- ・ 島田委員の意見は、1の背景に5の肖像を入れるとか、3の背景に入れるということか。

[島田委員]

- ・ 3案を選ぶときに、私の考えでは肖像写真のほうが良いが、肖像写真は2つしかないので、（肖像写真に）荒い波が背景にあったものがあると3つを選びやすい。

[西山会長]

- ・ （夜明けの背景は）夕陽か朝陽かわからない。

[宮村委員]

- ・ 穏やかな波の桂浜の背景の写真は、5番の部分にしても、龍馬像のあるところから竜宮岬をとったアングルの写真を、もう少し検討する必要があるのではないか。
- ・ 朝陽もいいとは思ったが、高知を象徴するところからすると欠ける。ただし、日本の夜明けというところでは繋がりはあるが。
- ・ 高知県＝龍馬＝桂浜というイメージからすると、桂浜の写真案のもう少し具合のいいラインナップがあればいい。
- ・ 消去法になるが、「龍馬に大接近」のやぐらのところから撮った斜めの写真は珍しいが、硬貨にしてみると正面を向いていないという部分で、国民の皆様にご認識いただけるか。

[柴岡委員]

- ・ まず、肖像か銅像かというところで、肖像に決めましょう。私は肖像で決めたい。
- ・ 背景は、6案の朝陽か夕陽かわからないので、桂浜のイメージで、あと波をどうするか。
- ・ まずは肖像ということで。

[西山会長]

- ・ 私も背景は桂浜だが、桂浜というと波というイメージがある。
- ・ 5番は地平線が見えているということで、「未来に向かって」というような広がりがある。
- ・ 肖像か銅像かで先に決めておいて、肖像の場合は、背景をどうするかという決め方でよいか。

[各委員]

- ・ 異議なし

[西山会長]

- ・ 肖像がいいという方。

〈全委員一致〉

[西山委員]

- ・ それでは、肖像で決めたい。
- ・ 背景は朝陽か桂浜かということになるが、意見を伺いたい。

[柴岡委員]

- ・ 私は、水平線が見える桂浜が良いと思う。

[西山会長]

- ・ 朝陽をはずして、桂浜で背景を考えるかということか。

[西山会長]

- ・ 肖像の1番、3番、5番の背景を持つてくるというのはどうか。

[島田委員]

- ・ ここに写真はないが、水平線があって、白い波があって、桂浜だということが分かるようなものは難しいか。

[造幣局]

- ・ 桂浜を色々なアングルで撮ったものを提供していただいて、考えていくということをしていかないとけない。

[西山会長]

- ・ 他に桂浜の資料はあるか。

[事務局]

- ・ 前回の検討の中で、桂浜の緩やかなカーブなどがわかる案もいくつか提案させていただいたが、結果として、今回デザイン案となっている波を選定される方が多かった。

[西山会長]

- ・ 順位をつけるという案だが、これでは付けられない。

[造幣局]

- ・ 肖像画に桂浜を入れたものを作って欲しいというのが、高知県の意見であれば、そういう提案でいい。

[事務局]

- ・ 要は1番と3番と5番を肖像に置き換えて提案していくことでも、問題ないということ。

[造幣局]

- ・ 桂浜の写真をいただきたい。

[事務局]

- ・ 桂浜の写真は、用意できるものは用意する。

[柴岡委員]

- ・ 前は色々な桂浜があったが。

[事務局]

- ・ 前は色々な桂浜を提案したが、残ったものが今回のものになる。そういう意味では一度戻るような形になる。

[柴岡委員]

- ・ 朝陽はもうちょっといいと思っていたが、あまり良くない。

[西山会長]

- ・ 夕陽か朝陽か少しわかりづらい。

[森委員]

- ・ 竜宮様の写った写真は、龍馬に関係なく桂浜と分かる。今回は、龍馬が前にあるので、私が思うのは夜明け前の朝陽の写真のほうが良い。すっきりしていいのではないかな。桂浜の竜宮があるよりは、はっきりして見えるのではないかな。
- ・ 朝陽だ、夕陽だというふうには、誰も見ないのではないかな。

[柴岡委員]

- ・ 「高知県」という字をレイアウトするときに、朝陽を背景にした場合は、ごちゃごちゃするか。

[造幣局]

- ・ 1番、3番の写真のような、岩のうえに「高知県」という文字がくるので分かりづらくなる。
- ・ 3番のように身体の一部に文字を入れるのは、あまり良くない。
- ・ 1番、3番の(背景を)もう少し遠くから見たアングルがあれば、5番みたいな扱いはできる。

[事務局]

- ・ 朝陽の色合いについても、こちらのほうから意見があれば、要望していくことが出来ると聞いている。

[島田委員]

- ・ 朝陽の背景はデザイン的にはすっきりしていい。
- ・ 水平線が見えて、くっきりと空との違いが見えるものとのどちらかではないかな。夜明け前という図案にするのか、すっきりと水平線とかが見えるようにするのか。岩が見えるところはごちゃごちゃしすぎているので、このまま使うのは抵抗がある。

[柴岡委員]

- ・ もともと桂浜はごちゃごちゃしている。どれだけ遠景にしても島があつて、松の木があつたりと。
- ・ 逆に遠景にすると桂浜とは分からないのではないかな。

[造幣局]

- ・ 技術的な面では、千円硬貨の場合は、龍馬をレリーフにして、背景は、1番、3番ぐらいの大きさだと桂浜にもレリーフをつけようと思うが、5番や6番になるとレリーフなしで、直に平面にカラー印刷をする。その場合だと、遠景の画像でも綺麗に表示される。

[西山会長]

- ・ 肖像を使うということは決定したので、背景についてだが、投票するにしても、桂浜の風景が示されないことにはできない。

[造幣局]

- ・ 高知県の意見として、肖像を使用し、背景は桂浜を遠景にしたものも作って欲しいという結論に達した、ということでも特に問題はないと考えられるが。

[西山会長]

- ・ 朝陽もすっきりするということで、背景の案に入れるか。

[柴岡委員]

- ・ 桂浜か朝陽かに絞らないといけないのではないかな。

[西山会長]

- ・ 龍馬の肖像で、背景は桂浜と朝陽で考える。

[事務局]

- ・ 肖像画を使用して、背景を例えば1番と3番と5番のようなもの、朝陽の部分、それに加えて桂浜のもう少し遠景のようなものなども作って欲しいという提案を、国の検討会で高知県から要望はできる。

[西山会長]

- ・ 順位はつけなくて良いか。

[造幣局]

- ・ つけなくて良い。

[柴岡委員]

- ・ 肖像を使用することで全会一致として、背景はイメージなので良いものができたら賛成ではどうか。

[西山会長]

- ・ それで異議はないか。

[各委員]

- ・ 異議なし

[事務局]

- ・ 肖像をベースに背景は1と3と5と6、加えて桂浜の遠景のもので作っていただくという意見で、整理する。

ー デザイン案の説明（五百円硬貨） ー

1番～4番の説明

[造幣局]

- ・ 五百円硬貨は、坂本龍馬だけということなので、銅像からとったものが1番、2番が横からとったもの、3番が写真からとったものをつくった。
- ・ それと、写真からつくったものに、「高知県」という文字、「五百円」という文字の配置を変えたものをつくってみた。
- ・ 3番と4番は微妙に大きさを変えている。
- ・ 千円硬貨についても、500円硬貨についても、「日本国」の文字と、額面と、県の英語と日本語には法則を決めている。
- ・ 千円硬貨の場合は、上が県名、下がローマ字表記になる。均等に配置している。
- ・ 500円の場合は、上にローマ字表記を配置し、それが右や左、中心に寄った形となっている。大きさは全都道府県すべて、同じにしようとしている。
- ・ 1番と2番のKOCHIという表記が右や左に寄っているが、この法則で行っている。大きさも変えていない。
- ・ 中の色が変わっているのは、バイカラーで材質が変わっている。
- ・ 顔の場合は、バイカラーのところは顔に触れないように考えている。
- ・ 作った側の感想としては、2番の銅像は見た角度ではないので、想像したちょんまげの部分が大きく見える。

[事務局]

- ・ 選定方法の説明

[造幣局]

- ・ 千円硬貨も500円硬貨も同じだが、これからの展開として、今月末か来月初めに開かれる検討委員会で、高知県にも出席して話をしてもらい、構図的にもデザイン的にもこうしたほうが良いという意見を基に造幣局がデザインを作る。
- ・ デザインは一点になると思うが、つくったものを、高知県で知事等に一度見ていただき、造幣局に戻していただく。それを何度か繰り返す。
- ・ (国の検討会では)決して一点に絞る必要はなく、こういう意見であるというのを発言してほしい。

[西山会長]

- ・ 千円硬貨は肖像となっている。500円硬貨も銅像か肖像かになると思うが、やはり肖像か。

[各委員]

- ・ 賛成

[西山会長]

- ・ それでは、肖像ということに決めたい。
- ・ そうなると、自動的に2番の横顔というのは不採用になる。デザイン的に1番と3番は「高知県」の文字の位置関係は同じようなところがあるので、3番と4番のどちらがいいかということになる。意見を伺いたい。

[柴岡委員]

- ・ 3番と4番の比較で言えば、この大きさなので、4番は少しあつかましく見える。

- ・ 私は3番。別の案があれば分からないが。

[宮村委員]

- ・ 私も3番が良い。
- ・ 日本国の部分と上下のバランス的にも良いし、顔の横に文字がたくさん入っているよりは、すっきりしているのではないか。
- ・ 家紋がもう少し上にあがって見えればいいが、サイズ的には厳しい。妥協しなくてはいけない。

[西山会長]

- ・ 家紋を入れると顔が小さくなる。
- ・ 「500円」(の文字は)下が良いか、横が良いかということだけになる。
- ・ 3番の下に「500円」を入れるものか、4番に入れるもののいずれか。

[柴岡委員]

- ・ 4番は外してはどうか。
- ・ 家紋が入るとか、遠近を引いたものにするとか。

[西山会長]

- ・ それでは、3番で決めるということではどうか。

[各委員]

- ・ 異議なし

－ 記念切手 －

[事務局]

- ・ 選定方法の説明

○最終的には日本郵便の判断となるので、台紙として提案したものが、切手に採用されたり、県の提案素材以外のものが採用される場合もある。

○写真についても、県が提出した写真でなく日本郵便が直接用意することも多いようなので、素材を選ぶ際には、資料の写真自体ではなく、素材そのもので判断していただきたい。

○今月、龍馬であい博の関係で、銅像にキャラクターを加えたものが発行される予定なので、事務局の提案は偉人シリーズを外したい。

[西山会長]

- ・ 台紙を二つに絞るということで、高知城と、鯨と、四万十川になっているが、意見を伺って投票としたい。

[柴岡委員]

- ・ 高知城は確定ではないか。私は高知城を確定したい。

[西山会長]

- ・ 高知城は多かつた意見なので、あとは、鯨か四万十川のどちらを台紙として選定するかということになる。
- ・ 日本郵便もこの(資料の)写真を使わず、(日本郵便が)検討して(もっと)良い写真を使うと思う。
- ・ 何か意見はないか。

[柴岡委員]

- ・ 四万十川というと西部になるのか。

[事務局]

- ・ はい。

[柴岡委員]

- ・ 鯨も、高知としては西部になるのか。

[事務局]

- ・ 大方町や黒潮町辺りになるかと思う。
- ・ 台紙に採用されなかった場合は、4つの切手のどれかに採用される場合もある。

[宮村委員]

- ・ 鯨は台紙で採用されても、我々は分かるが、万人に分かるか危惧される。

[島田委員]

- ・ 同意見。鯨は高知だけのものではない。
- ・ 徹底して、「高知の風土と見どころ」というテーマでいけば、高知城であるとか、四万十川のような高知固有のものが大きくクローズアップされるのではないかと。

[西山会長]

- ・ 台紙は高知城と四万十川でよいか。

[各委員]

- ・ 異議なし

[西山会長]

- ・ あと、切手の素材を8案決めると言うことだが、ご意見をいただきたい。
- ・ 東部、中部、中西部、西部のなかから2つずつ選ばばいいということかと。

[事務局]

- ・ 事務局の提案は、地域性も考慮して8案ぐらいを投票して欲しいと考えている。

[西山会長]

- ・ よさこいの切手に顔が写っているのは肖像権は確認されているのか。

[事務局]

- ・ 確認しているとのこと。

[島田委員]

- ・ 空、海、川と祭りとか生活文化に根ざしたもの。
- ・ やっぱり、全体として綺麗なものがいい。

[西山会長]

- ・ はりまや橋を使って欲しいと提案しても、示されている写真が使われるとは限らない。別の写真が出るかも分からない。

[島田委員]

- ・ 大事な人に切手を貼って出したいとか、保存しておきたいとか、イメージのわく切手を。

[安岡委員]

- ・ 使いたくない（勿体ない）ようなものに。

[森委員]

- ・ 総合的なテーマは龍馬か。
- ・ 記念切手には龍馬は関係しないのか。切手は硬貨とテーマは一緒でないということかと。

[西山会長]

- ・ そうではないか。そこは郵便局が考えるところだが。
- ・ 長野県の切手をみると観光的なテーマの印象を受ける。

[造幣局]

- ・ ただし、ここ（特定の1枚）には龍馬（硬貨と同じ図柄）がはいる。

[島田委員]

- ・ 意見として、「龍馬を育んだ風土」として関連性のある物を提案するのは構わないかと。

[事務局]

- ・ 構わない。
- ・ 事務局において、各地域の伝統文化など、細かいテーマを設定してみるという試みをしたが、最終的に日本郵便で絵になるものの中から決定されるので、いくら提案をしても、採用されない可能性がある。

[西山会長]

- ・ 投票しても、意見が分かれるのではないかと。

[事務局]

- ・ 見どころとしても、東部の室戸岬や野良時計など、昔ながらの見どころもあれば、吉良川の町並みやモネの庭などのような最近の見どころもあるので、意見が分かれるのは予想される。

[島田委員]

- ・ 切手には、場所や名前が載るようだが。

[森委員]

- ・ 何かテーマがないといけないのではないかと。祭りとか場所とか。
- ・ テーマがあって、それに合わせて地域で分けていかないと、龍馬があって、絵金まつりがあるなど、バランスがあわない。

[事務局]

- ・ そのあたりを各委員の方々にイメージしていただきながら、ご提案していただきたい。

[西山会長]

- ・ 皿鉢料理が採用されると、切手では珍しい。
- ・ 今までに、県鳥のヤイロチョウは切手になったことがあるか。

[島田委員]

- ・ ヤマモモは切手になっている。県花や県木シリーズで、発行されている。

[西山会長]

- ・ 東部、中部、中西部、西部から2つ、もしくはどこかを1つにして全部から1つ選ぶなど、取り決めをしておけば、ある程度まとまると思うが。
- ・ 高知県のものなので、東部、中部、中西部、西部から1～2つ選び、例えば、東部を1つとしたら全域から1つ選ぶという方法でよいか。

[各委員]

- ・ 異議なし

[柴岡委員]

- ・ 大堂海岸は大月町だが、柏島の風景のほうがすばらしい。柏島にしていきたい。

[事務局]

- ・ 結果発表
- ・ 投票数の多い順位

1	絵金まつり	(同数) よさこい祭り	6票
3	四万十川		5票
4	日曜市	(同数) 紙のこいのぼり	4票
6	野良時計	(同数) 桂浜	3票

※四万十川は台紙に採用されるので、提案しない。

[西山会長]

- ・ 四万十川について、台紙が高知城なら四万十川も採用される。
郵便局が台紙に四万十川を入れるとなると、高知城は出てこないのか。

[事務局]

- ・ 台紙に四万十川が選ばれれば、高知城が出てくることが想定される。

[西山会長]

- ・ 高知城が台紙になると、四万十川を切手に採用してほしいとするか。

[事務局]

- ・ 要望として出していくことはできる。

[西山会長]

- ・ その逆で、四万十川が台紙になれば、高知城を切手に採用してほしい。
- ・ 東部では野良時計と絵金まつり、中部ではよさこい祭りと日曜市と桂浜、中西部では紙のこいのぼり

[島田委員]

- ・ 桂浜は、千円硬貨の背景に桂浜が選ばれた時には、切手シートにも自動的に入ってくる。

[造幣局]

- ・ そう(いうことに)なる。桂浜は除外しておいたほうがよい。

[島田委員]

- ・ そうなると、海の提案がない。

[西山会長]

- ・ 西部は、今、(四万十川の) 1点選ばれているが、もう1点選ぶとなると、鯨、だるま夕日、柏島が同票。

[柴岡委員]

- ・ 台紙を高知城にして、切手を絵金まつり、よさこい祭り、紙のこいのぼり、四万十川にすれば、投票順にうまく納まる。
- ・ ただ、川、川となって海がない。

[十河副知事]

- ・ これから売り出す柏島・大堂海岸ではどうか。

[柴岡委員]

- ・ 台紙はおそらく高知城になるのではないかと。四万十川かもしれないが。

[島田委員]

- ・ 四万十川が切手に選ばれる可能性が強いかも。

[柴岡委員]

- ・ そうなると、やはり海がなくなる。海は桂浜か。

[島田委員]

- ・ 桂浜は千円硬貨の背景にある。夜明け前なのかは別として。

[西山会長]

- ・ ただ、郵便局はよさこい祭りの切手で高知城を使用している。もしかしたら、台紙は四万十川になるかもしれない。

[柴岡委員]

- ・ そうであれば、四万十川を除いて、柏島を採用してもらえればよい。

[島田委員]

- ・ 海の風景を2つ程追加してはどうか。

[柴岡委員]

- ・ 室戸岬も足摺岬も切手で発行されていると思う。
- ・ 柏島は発行されていない。

[島田委員]

- ・ 推薦は8点ということで良いか。

[事務局]

- ・ 8点ということ。ただ四万十川は台紙で提案するので、その8点の中からは除外していただきたい。
- ・ 残り3点を選んでいただきたい。

[西山会長]

- ・ 各地域2点ずつになるように、中西部と西部から選ばよいか。

[事務局]

- ・ 中西部から1点、西部から2点選んでいただきたい。

[森委員]

- ・ 鯨は選ばなければいけないか。

[安岡委員]

- ・ この鯨の写真は良くない。

[森委員]

- ・ 写真は他にもあると思うが。

[島田委員]

- ・ 鯨の写真の海は大方町あたりの海か。名前を付けるときに、「大方町の海を泳ぐ鯨」となるのか。
- ・ 切手にはすべて、名前が付いている。説明しないとイケない。
- ・ この写真はどこで撮った鯨かわからないか。

[事務局]

- ・ わからない。

[島田委員]

- ・ 西部の海で泳いでいる鯨ということが説明できる写真を用意できるか。

[事務局]

- ・ 努力してみる。

[西山会長]

- ・ 「鯨」として提案すると、日本郵便が独自に用意するのではないか。

[事務局]

- ・ (日本郵便が) 撮影しに行くと思う。

[島田委員]

- ・ 地域性を考えた時に、西部のものであるという根拠に鯨はなるのか心配する。

[西山会長]

- ・ 柏島を提案するとなった場合、良い写真はあるか。

[柴岡委員]

- ・ ある。この大堂海岸の写真はあまり良く写っていない。

[西山会長]

- ・ 西部は大堂海岸・柏島と鯨を提案することで良いか。
- ・ 残り中西部から1点選ぶことになる。天狗高原か秋葉祭り。どちらかを挙手で選定する。

<挙手により天狗高原を採用>

[西山会長]

- ・ ご検討いただいた結果が出たが、できるだけ日本郵便では希望にそったものにしてほしいと思うが、長野県の事例を見ると違ったものになるかもしれないが期待したい。
- ・ 以上で硬貨と切手の選定が終了したが、2回の検討会で皆様には多くのご意見をだしていただき感謝する。
- ・ 来年の「竜馬伝」、また、観光に向かっても記念貨幣と切手が起爆剤になればと思う。

[事務局]

- ・ 今回の結果を知事に報告のうえ、高知県の提案として造幣局に提出したい。
- ・ 今後、記念貨幣については、今月末あるいは来月初めに開かれる造幣局の検討会のあと、最終的には9月頃財務大事によって決定される予定。
- ・ 記念切手については、日本郵便に素材案を提出した後、日本郵便において決定される。

[十河副知事] —あいさつ—

- ・ お忙しい中、お集まりいただき、熱心にご意見を戦わせていただき、御陰様でデザイン案を決定することができた。
- ・ 来年の4月から7月ごろには、ご検討いただいたデザイン案をもとに記念貨幣が発行されることになるが、是非お買い上げいただき検討した成果をお楽しみいただきたい。

[西山会長]

- ・ 造幣局の検討会の後、再度検討するようなことはあるか。

[事務局]

- ・ そのようなことがあれば、ご相談させていただきたい。